

第 2 期計画の基本理念等について

(1) 計画の基本理念

これまで、次世代育成支援行動計画の時から、踏襲してきたもの。
まちは連綿と受け継がれていくものであり、第 2 期計画も踏襲してはどうか。

「子どもは地域の宝、みんなで見守り育てよう！」

(2) 基本理念の前文

下線（点線）の文章については、時点修正すべき考え方があるか。

子どもは性別・国籍・障がいの有無に関わらず皆「いとご」であり地域の宝です。子育ての第一義的責任を果たすべき保護者が、子どもたちの明るくのびやかに育つ姿、好奇心にあふれたくましい探究心を示す姿に、喜びと期待を持って子育てをしていくためには、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整えるとともに、地域社会全体で子育てを見守り、支援していくことが重要です。また、「育てよう！」でしめるこの基本理念総括には、Let's（～しよう）という勢い・意気込みが表現されており、文言だけでは終わらない、行動への強い決意を含んでいます。

(3) めざすまちの姿

今後抽出していく課題から大きな柱（めざすまちの姿）を描いてはどうか。
現時点では、「安心して子育てができるまち」「子育てにやさしいまち」など、どんなまちの姿を思い描くか。

1. 子どもの幸せを考えるまち

子どもの視点に立ち、すべての子どもの年齢や発達に応じた支援、すべての子育て家庭を対象にした支援を図ります。

2. 子育てを地域ぐるみで支えあうまち

行政・民間の垣根を越えた地域社会全体の連携を深め、子育て支援の充実を図ります。

3. 次代の親を育成するまち

将来を見据え、長期的な視野に立った子どもの健全育成を進めます。